



松は最高の位とされた

米子市 文化活動館 通信



笹の葉

料理教室の応募 ネット利用も可能

—先着順から抽選制へ—



館長 中村輝彦

今年の干支は「乙巳(きのとみ)」です。「巳」とは「ヘビ」を意味し、個人的には苦手な動物ですが、古代から信仰の対象とされてきました。脱皮を繰り返し成長する様子から「復活と再生」を連想させ、不老長寿や強い生命力につながる縁起の良いシンボルとされています。今年一年が強い生命力に支えられた縁起の良い年になりますことを祈念いたします。

文化活動館では、小さな施設ながらも昨年は様々な事業に

取り組んで来ました。また、活動館を拠点とする「米子がいな太鼓」は、創立50周年という節目を迎え、盛大に祝賀や記念イベントが開催され、多くの市民に元気を与えました。

さて、活動館は昨年11月、初めての試みとして、韓国料理教室①の応募を先着順から抽選制に移行しました。これに合わせて、応募を従来の窓口や電話に加えて、HP からの申し込みを可能としました。先着順では「電話がかかりにくい」との声に答えたものです。今年は、3月15日のベトナム料理教室と3月29日の韓国料理教室②でも試行します。今後とも皆さんの声を大切に業務改善に取り組んで行きたいと思ひます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

県立産業人材育成センター米子校の6人が昨年10月、館正面のヒイラギモクセイのせん定作業を行いました。1ヵ月後、白い清楚な花からフルーティーな香りが漂いました。魔除けとなる木で、清々しい気持ちで新年の幕開けです。

餅つき
魔除け

恒例の「餅つき&クリスマス会」が12月15日、聖園天使園の子どもたちを招いて開かれました。餅つきは古来より繁栄の行事で、餅には霊力があると信じられてきました。また、神棚に供えた丸餅を家族に分け与えたのが「お年玉」のルーツともされます。



早春に咲く梅の花

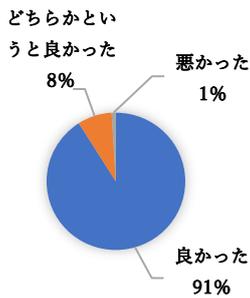


門松と松竹梅 正月に飾られる門松は、縁起物とされる松竹梅を中心に構成されています。それでは、なぜ、松竹梅でしょうか。門松は古くは、門口に松を置いて年神を招き入れていました。松は一年中、青々として寒い冬でも枯れることがありません。このため、強い生命力を持つものとして長寿の象徴でした。門松は、平安時代の宮廷儀礼『小松引き』に起因する説が有力のようですが、室町時代に子孫繁栄の願いを込めた竹が加わり、江戸時代には、早春を告げる梅の花が仲間入りして現代の形に近づいたといひます。門松に代表される縁起物の最強トリオ「松竹梅」の組み合わせは、中国宋時代(960-1279年)にみられる画題「歳寒三友(さいかんのさんゆう)」がルーツとされます。ただし、こちらは画題で、寒い冬にも緑を保つ松と竹、花開く梅を歳寒三友と呼んで文人画に描かれていました。この考えは、平安時代に日本に持ち込まれました。時代を経て三種の植物が一体となった縁起物「松竹梅」の言葉が生まれたようです。他方、三種の間での格付けも生まれました。現代では、寿司店などで「特上」が松、「上」が竹、「並」を梅としている例が目立ちます。厳かな式典の新入学や卒業式などでは、演台に見事な枝ぶりの松の盆栽が飾られます。また、能舞台の奥の羽目板「鏡板」には、老松が描かれています。神がよりつく「依り代(よりしろ)」の老松です。格付けで竹と梅の入れ替わりはありますが、古来、松は別格として最上位に位置してきました。(文、写真とも山根)

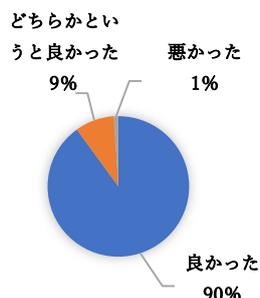
木
洩
れ
日
散
歩

令和6年度 利用者アンケートの集計結果

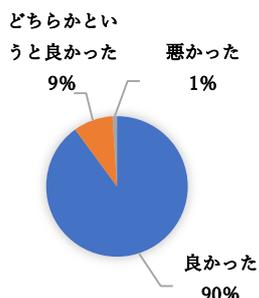
利用者の皆様に、スタッフの対応などのアンケートを行い、127人の方にご協力をいただきました。



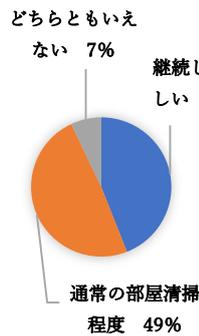
電話対応



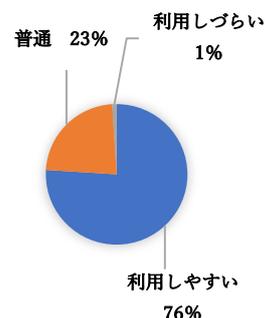
受付対応



要望対応



コロナ消毒対応



利用の感想

文化活動館 トピックス



山地2区祭(10/13)。活動館で練習に励む太鼓と吹奏楽の計約50人がステージで祭りを盛り上げました。



募集 韓国料理教室②

▼期日 3月29日 ▼時間 10:00-14:00
▼場所 米子市文化活動館 料理講習室
▼講師 米子市国際交流員 林慧珠(イム・ヘジュ)先生 ▼定員 16人 ▼受講料 500円(別途材料費)
▼メニュー 「韓国で流行っている料理」をテーマにご飯を使わないダイエットを取り入れたキトキンパ、野菜キンパ

▼募集期間 3月6日 10:00 から13日 17:00 まで。(定員超の場合は抽選)▼応募方法 当館窓口、電話のほか当館 HP から申し込み可能



韓国料理教室①

参加者は
和気あいあいと
調理を学んだ
(11月30日)



募集 ベトナム料理教室

▼期日 3月15日 ▼時間 10:00-14:00 ▼場所 米子市文化活動館 料理講習室
▼講師 県国際交流コーディネーター 白田アン先生 ▼定員 16人 ▼受講料 500円(別途材料代)
▼メニュー ベトナム焼きそば「ミーサオ」生春巻き「ゴイクオン」デザート「小豆のチュウ」▼募集期間 2月22日 10:00 から3月3日 17:00 まで。(定員超の場合は抽選)▼応募方法 当館窓口、電話のほか当館 HP から申し込み可能

休館日 ◆1月=2日(木)、3(金)、13日(月)と毎週水曜日 ◆2月=毎週水曜日と11日(火)、23日(日)、24日(月)
◆3月=毎週水曜日と20日(木) ◆4月=毎週水曜日と29日(火)

利用時間 開館日の利用は平日と土曜日が9:00~22:00(日曜日は17:00まで)。部屋貸し出しは閉館の15分前まで。



あとがき

年齢のためなのか、慣れなのか、一年が早く過ぎるように感じる。時間の心理的長さは年齢に反比例する「ジャンネーの法則」にピッタリはまっている。調べたところ、これを打ち破るには新しいことを体験するとよいとある。新年を迎え、身近なところから始めていき、充実した一年を過ごすことを目標にしたい。(R)

米子市文化活動館

〒683-0802 鳥取県米子市東福原8丁目24-31

電話=0859(34)5154 FAX=0859(30)4788 HP=https://y-bunkak.com

指定管理者 旭ビル管理株式会社